

第 1 2 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

①意見交換会の答弁もすばらしい。地域の現状がよりよく見えてテーマとしてもよかった。

＜回答＞

ありがとうございます。今後も多くの参加者からご意見をいただけるようなテーマとし、よりよい報告会・意見交換会になるよう努力いたします。

②アンケートや質問に対する回答が3ヶ月後となっているが、余りにも時間を要しすぎます。せめて1ヶ月後には回答書が見られるようにしてほしい。

＜回答＞

アンケートや当日の質問等に対する回答は、質問によっては当局と調整、確認が必要な場合もあります。その後、実行委員会の中で一つ一つの質問に対する回答を協議し、次回の報告会までには公民館等で閲覧できるように回答書を作成しておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

③報告会の内容について、議案の説明については資料で省略できるのではないかと。参加者からの意見の時間を多くとれるように。

＜回答＞

議案の説明を資料ですべて省略することは難しいと思いますが、今後の議会報告会・意見交換会実行委員会の中で検討させていただきます。

④意見交換会に重点を置いた方がよいと感じました。

＜回答＞

議会報告会と意見交換会の2部構成で行っていますが、どちらに重点を置くということではなく、意見交換会では地域の皆様の身近な意見、要望を伺い、市政の発展につなげていきたいと考えておりますので、今後もこれまでと同様の時間配分でこの議会報告会・意見交換会を継続していきたいと考えております。

⑤大変参考になりました。

＜回答＞

ありがとうございます。またの出席を心からお待ち申し上げます。

⑥配布していただいた資料は簡潔でよくできていて参考になりました。質疑応

答、意見交換も身近な案件が取り上げられたと思います。

<回答>

ご意見ありがとうございます。資料はすべて議員が作成したものです。市民の皆様の身近な声を反映し、よりよい報告会・意見交換会になるよう努力します。

⑦足利から来ましたが、駐車場が全くわかりませんでした。事務局の方に案内して頂きました。ありがとうございました。

原稿を読む方の中にスピードが遅い方が多く聞きにくかったです。スピードは議長くらいが丁度良いと思いました。

意見交換会はテーマが決められていますが、テーマに沿った内容の何かを議会側でまず発表すると、意見が出やすいと思いました。・・・と思いましたが、次々に意見が出ていたのでこれで良さそうです。すみません。

議案すべてを説明すると時間がかかるのは確かですが、議案名だけ書かれるより分かりやすく良いと思いました。参考になりました。ありがとうございました。

<回答>

駐車場の件は、大変申し訳ございませんでした。

全体の流れについては、毎回実行委員会の中で協議をしておりますが、よりよい報告会・意見交換会になるよう努力しておりますので、お気づきの点についてはこれからもよろしくお願いいたします。

⑧報告会について、議案の説明は「議案」を読んで済ませるのではなく、各担当議員が「かいつまんだ説明」ととどめるべきだと考える。簡略化が必要。「・・・」以上で質疑を終結し、云々・・・」をその都度言う必要を感じない。同様の考え方をお持ちの方が多くいようのでぜひ一考をお願いいたします。交換会の時間を多く！

<回答>

議案の説明は、正確に市民の皆様にお伝えすることが第一と考えております。説明の中には専門用語でわかりづらい点もあるかと思いますが、説明方法については、ご意見を参考にさせていただきながら、今後の議会報告会・意見交換会実行委員会の中で検討させていただきます。

⑨今回初めて参加させていただきました。このようなことの積み重ねが大切なことだと思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。意見交換で、ある程度仕方ないのかもしれませんが、意見が粗末になる傾向があるように感じ

ました。

<回答>

ご出席ありがとうございました。今後も日頃の積み重ねを大切に議員全員が一丸となって頑張ります。意見交換についてのご意見は承りました。

⑩初めて報告会に出させて頂きました。真摯に答えて頂いてよくわかりました。これからもこういった機会を増やして頂いて、市民の意見を吸い上げていただきたいと思います。

<回答>

ご出席ありがとうございました。今後もよりよい報告会・意見交換会になるよう努力いたします。またの出席を心からお待ち申し上げます。

⑪次回には質問を考えて参加します。

<回答>

ありがとうございます。またの出席を心からお待ち申し上げます。

⑫議会改革の取り組み、勉強させていただきありがとうございます。本市議会でも来月4会場で「議会報告会・意見交換会」を開催いたしますので、その参考とさせていただきます。

<回答>

ありがとうございます。これからも切磋琢磨して両毛地域の発展のため共にがんばりましょう。

⑬－1 今回初めて参加しましたが、各議案に対する説明が一方的で羅列である。市側と議員の意見が一致する案件については省いて、対立点、疑問点がある案件について詳しく説明してほしい。今のままでは単なる報告会で、ただやっているとの免罪符にしていると思う。特に議員個人の意見を言わないのは不満である。議員個人の意見は次の選挙で投票する大事な材料になる。(今のままでは市側の単なる説明である。)

<回答>

説明方法等については、今後の実行委員会の中で検討させていただきます。また、この議会報告会は議員全員が一つとなって運営しているため、議員個人の意見は差し控えさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

⑬－２ 合併については、何がドライビングフォースか、何が妨げているのか、またどこが問題点なのか、どこかで全てを明らかにすべきである。市長は門戸は広くしているとしているが本当か。人口減は若者と共に老人を増やすことも考えるべきである。介護施設や産業を起こす。

<回答>

みどり市との合併については、新聞報道にもありますように任意合併協議会設置の動きがあります。これは桐生市長が先頭になってみどり市長やみどり市議会に理解を求め、また、議会としてもみどり市長に熱意を伝えた結果、このような状況まで進んだものと考えております。合併の問題点は、今後の両市の協議の中で十分な議論をして解消していくことが最善であると言えます。

人口減少問題は、議会としても「地域政策調査特別委員会」を設置し、その中で、分析、対策、将来の方向性など、産業、観光、教育等さまざまな角度で研究しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

⑬－３ 市民の要望を聞く会ではもったいない。市のビジョンを話すことも必要。

<回答>

この議会報告会・意見交換会は、多くの市民の方から意見や要望をいただく機会として有効な場であると考えております。

⑭－１ 議会報告会も１０回以上行われていて市民からもいろいろな意見が出されていますが、それらの意見を聞いたことに対し、実現できたものはあるのでしょうか。あれば具体的に公表していただきたいです。

<回答>

毎回、市民の皆様から大変貴重な意見をいただいておりますが、この意見に対する回答を作成する時点で、市の担当課と協議、調整をしております。したがって、皆様の意見は議会内部に留まることなく、議会がパイプ役となって担当部局へお伝えしてありますので、その結果、地域の問題等が解消したケースもあると考えています。

⑭－２ 今まで議会報告会を実施してきてどのような成果が上がっているのでしょうか。具体的に公表していただきたいです。

<回答>

議会報告会・意見交換会はこれまで１２回開催しました。毎回５０～１００名の市民の出席をいただいております。この報告会を通じ、開かれた議会、市民参加を促進する議会が実現されているものと考えています。

⑭－３ 議会報告会に亀山市長も出席していただきたい。

<回答>

市長と議会は二代表制の下、常に緊張関係にあります。市政発展と市民の皆様のための福祉向上を目指す点では同じ目標を持ちます。両者の関係はよく車の両輪に例えられます。ですので、議会主催の議会報告会・意見交換会に市長が参加することは難しいと考えます。

⑭－４ 議案の説明、その他条例案、補正予算の説明が非常に難解で理解しづらいです。もっと理解しやすい言葉で解説していただきたいです。

<回答>

議案の説明は、正確に市民の皆様にお伝えすることが第一と考えております。説明方法等については、今後の議会報告会・意見交換会実行委員会の中で検討させていただきます。

⑭－５ 議案第３８号新里東小の女兒がいじめ問題で自殺したとされる問題で、控訴した件について賛成多数で可決したのは解せないです。いくら事実誤認や真相究明のためとはいえ、遺族にしてみればこれは死より辛いものであり、このような遺族の心中を察すれば控訴すべきでなかったと思います。これでは桐生市は子育て日本一とは言えないのではないのでしょうか。

<回答>

ご意見を承りました。

⑭－６ 旧桐生市内にもみどり市内で運行しているデマンドバスや電話でバスを取り入れるべきであると思います。おりひめバスは空気を運んでいるだけです。

<回答>

おりひめバスを含む公共交通は、市民にとりまして大変重要な交通機関です。一方、ご意見の通り今後の在り方、運行形態について検討が必要な時期でもあると考えます。ご意見は、所管する広域調整室にお伝えします。

⑭－７ 赤字ローカル線であるわたらせ渓谷鉄道に多額の税金を投入し存続させる大義はないと思います。そろそろ存廃の検討をすべきであります。

<回答>

桐生市にとりましてわたらせ渓谷鉄道は重要な公共交通機関です。特に交通弱者をはじめ沿線住民にとってはなくてはならない貴重な足として重要な役割

を果たしています。

桐生市及び桐生市議会は、平成２６年度もわたらせ渓谷鉄道に対する支援を継続してまいります。ご意見は、所管する広域調整室にお伝えします。

⑭－８ 北関東道への早道のアクセス道路の建設をすすめてほしいです。市内から１０分程度でＩＣにアクセスできるようにしてほしいです。

<回答>

ご意見の通り北関東道へのアクセス道の整備については急務と考えています。

現在桐生市では、中通り大橋からの延伸を中心に実現に向けて努力をしていますが、どのアクセス道を整備するとしても他市を通過する必要があることから、桐生市及び桐生市議会では粘り強く群馬県や関係する市に対して要望をしているところです。

⑭－９ 桐生市には独居老人が多いです。孤独死を防ぐための施策を考えていただきたいです。

<回答>

桐生市では、高齢者の皆様が生きがいを持ち安心して暮らせるまちづくりを目指しています。ご意見は、所管する長寿支援課にお伝えします。

⑭－１０ 議会報告会が開催される際に、参加市民が質問事項を用紙に記入しそれを質疑応答の時間に司会がその質問事項を読み上げて議員がそれに答える形も取り入れてみたらどうでしょうか。参加市民がお話をしない分、時間短縮になると思います。

<回答>

事前に質問を把握できることは、議論を深める方法の一つであり、有用性の高いご意見であると考えますが、現在のところ当日以前に質問を受ける制度になっておりません。今後検討をさせていただきます。

⑭－１１ 財政難の折、議員報酬を数十％位カットすべきです。

<回答>

議員報酬は、平成２０年度から議員自らの努力により１０％減額していましたが、平成２３年１０月の報酬審議会において、１２％減額の答申を受け、現在１２％減額の議員報酬となっております。現在のところ、現行報酬から数十％位のカットは考えておりません。

⑭－１２ 大分県肥後高田市は若者定住の施策を取り入れております。ぜひ勉強してください。

<回答>

ご意見を参考にさせていただきます。

⑮－1 合併問題について、みどり市との合併は何がネックなのですか。

<回答>

みどり市との合併については、現在、両市による任意合併協議会設置の動きがあります。何がネックになっているかなどさまざまな問題点については今後の両市の協議の中で洗い出し、検証し、十分協議を重ねた上で解消できるものと考えております。

⑮－2 北関東の I C へのアクセス道路の早期完成を願う。

<回答>

ご意見の通り北関東道へのアクセス道の整備については急務と考えています。現在桐生市では、中通り大橋からの延伸を中心に実現に向けて努力をしていますが、どのアクセス道を整備するとしても他市を通過する必要があることから、桐生市及び桐生市議会では粘り強く群馬県や関係する市に対して要望をしているところです。

⑮－3 中心商店街に対する思い入れは市にはないのですか。商店街に多くシャッターの下りている店舗があり、これに対して市当局や議員さんには関心がないのですか。

<回答>

ご意見のとおり、確かに中心商店街にはシャッターが下りている店舗が見受けられます。これに対して、市当局及び議員もこのままでよいという考えはもちろんありませんし非常に関心を持っております。現在、市当局においても空き店舗の活用方法等を検討しておりますので、議会としても中心商店街の活性化に向けた取り組みを働きかけていきたいと考えております。

⑮－1 現在みどり市との合併について、当局はどう考えているか。

<回答>

みどり市との合併については、現在、両市による任意合併協議会設置の動きがありますので、その動向を見ながら合併の実現に向けた取り組みを行っていく考えであります。

⑮－2 ジャズピアニスト、画家山口晃について大使に任命してほしい。

<回答>

観光大使のことと思いますが、所管する観光交流課にお伝えします。

⑪人口減少の原因の一つに働くところがないので、若い世代には住みにくい市になっていると思います。企業の誘致（大企業にあらず）を研究してもらいたい。

<回答>

若年層をはじめとした恒常的な市外流出などにより人口減少が進行しており、人口減少が及ぼす影響は大変大きな問題であることから、一刻も早く有効な施策を実施する必要があります。桐生市では、子育て世代をターゲットとした第一段階として住宅取得応援事業を実施します。

また、市議会では、現在人口減少問題の解決に向け地域政策調査特別委員会を立ち上げ議論をしており、企業の誘致等産業分野も含めてあらゆる角度から研究しておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

⑫－１ 地方の負債は２００兆円と言われているが、桐生市における負債は平成２６年４月現在いくらぐらいになるのか教えてほしい。

桐生市が財政上厳しい状況かどうかによって、経済運営を考えていってほしい。夕張市のような財政再建団体にならないように頑張って議会運営をしていただきたいと思います。

<回答>

桐生市の一般会計における負債総額は平成２５年度末で約４００億円です。

毎年度、決算時に健全化判断比率を算定しておりますが、財政再建団体になる基準を大きく下回っている数値でありますので当面は心配ありません。議会としても財政健全化については厳しくチェックをしていきたいと考えています。

⑫－２ 富岡は６月に世界遺産の認定がなされるようですが、本町一・二丁目の伝建群地区は、私どもの一般の人間が見る上で、いまいちインパクトに欠けるように思います。今後どのようなようになるのか、具体的に考え方を市民に報告していただきたいと思います。

<回答>

先日、富岡製紙場が世界遺産登録の認定を受け、県全体が絹遺産群として面的に捉えていく考えがあります。その中で、桐生市としては、桐生織物のＰＲ、本町一・二丁目天満宮地区の重要伝統的建造物群の確立を優先した整備を行い、将来的には世界遺産登録に向けた取り組みを働きかけていきたいと考えております。

⑱－３ バブル崩壊以降（リーマンショック等の後）、桐生市内の空き地、空き店舗が非常に目立ってきていますが（商店街のシャッター通り化等）、桐生市の施策を今後どのようにしていくのか具体的に教えてほしいと思います。ちなみに当町会の状況は、バブル期１８０軒の店や居住者が在住しておりましたが、（平成３年頃１９９１年頃）２０１４年（平成２６年）現在、１１０軒（現在の残存数）と減少しております。２３年間で地方の衰退もありますが、１９０軒以上の店舗並びに居住者が消失しております。今の経済状況下では減少傾向は変わらず、増加していく方向にはありませんが、具体的な市議会の施策があれば教えていただきたいと思います。

<回答>

ご意見のとおり、空き地・空き店舗の増加等による人口減少は深刻な問題であります。桐生市では人口減少対策として子育て世代をターゲットとした住宅取得応援事業を実施します。

また、市議会においても、人口減少問題の解決に向け地域政策調査特別委員会を立ち上げ、あらゆる角度から調査研究をしておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

⑲ 人口減少対策、働く場所を確保し若者の定着が図れるよう力を貸してください。また、災害に強い地域と聞いている。（全国的に見た場合）人が住むのに安全な地域である。首都圏に近い市であるので、この点を売り込み年齢に関わらず人に住んでもらうことも考えるべき。（シルバーシティでも可）

<回答>

若年層をはじめとした恒常的な市外流出などにより人口減少が進行しており、人口減少が及ぼす影響は大変大きな問題であることから、一刻も早く有効な施策を実施する必要があります。桐生市では、子育て世代をターゲットとした第一段階として住宅取得応援事業を実施します。

市議会においては、人口減少問題の解決に向け、地域政策調査特別委員会を立ち上げ議論をしており、働く場所の確保等の雇用、労働分野も含めてあらゆる角度から研究しておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、桐生市の地域の特性を活かした売り込み方法については、今後検討させていただきます。

⑳－１ 某、私立高校付属幼跡地、木々の整備がなされてなく、地区内でそうじ、老葉の処理をしています。近くの家々の内にも入り、個々に処理をしています。どうぞ考えてください。

<回答>

ご意見のような状況は、市内の各地域でよくある問題と捉えておりますが、基本的には土地の所有者にお伝えいただくことが第一であると思います。例えば木々が市道上に大きくはみ出していて交通に支障をきたすような状況であれば、市道を所管する土木課へ相談いただければと思います。

②〇－２ 平均年齢が上がってきて、年金で生活の人とか多い近頃、この時期、他県より（他県ナンバーバスは多い）公園、遊園地に来園しておりとてもうれしく思っていたのですが、せめてバス１台にいくらか、エサ代、交通整備代としていただけることはなしですか？税金、市税を考えてください。

<回答>

市の財源を確保するという意味では、大変良いアイデアと思います。実現させるためにはさまざまな課題があると思いますが、市の関係部署にお伝えさせていただきます。

②〇－３ 授業料支援は子どもにとってとてもよいことです。でも親の都合によって、その支援がきちんとなされるかの審査はしっかりやってくださいませ。

<回答>

ご意見は、所管する学校教育課へお伝えします。

②①－１ 高齢化に伴う空き家住宅が多数発生しているが、行政の対応はにぶい。地域と密接な関係を有する議会として、治安、防災、財産保全等について前向きに取り組んでほしい。

<回答>

空き家対策については、市民からの相談窓口が内容により所管が異なるため市内部の連携強化が必要と感じています。このため、一般質問等において総合窓口の設置を要望するとともに、市民の安全確保の面からも迅速な対応を要望しております。

②①－２ 桐生タイムス社の発行する新聞報道に関して、桐生市議会の活動内容がみどり市議会の内容に比較して量的に少なく内容もうすいと感じる。原因は何か、新聞社の都合なのか。

<回答>

桐生市議会とみどり市議会の新聞報道の内容量については、掲載時の紙面上の関係と思いますが、この件についてはこちらでは把握しておりません。

②①－３ 現在の個人、法人の住宅、施設等が市有地、市道等を占拠している部分について改善を。防災、救急等に多大な影響がある。

<回答>

市道等において支障がある場合は、所管する土木課へ具体的な場所をお知らせいただき、まずはご相談いただければと思います。

②1-4 公共の所有している空き地等を住民に管理させることにより利用させてもらっているが（9区遊園地）、遊具等の設備、管理、樹木、植栽の手入れ等の管理問題が発生している。応援をお願いしたい。

<回答>

ご意見の9区遊園地の管理の件については、地元の区長名で市へ要望書が提出されています。現在、地元と所管する公園緑地課で協議をしており、将来的には市の方で管理をする方向で検討しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

②2-1 市議会議員の議員年金の件の公開。

<回答>

個人情報のため公開できません。

②2-2 水道料金の他市の料金との比較。

<回答>

県内及び近隣都市と比較すると、高くもない安くもない平均的な料金となっています。

②2-3 平成26年4月14日、15日の朝の初動消火が遅く行われたように思います。

<回答>

今回の林野火災は、延焼範囲が広く鎮火までに相当の時間がかかり、市民の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。消火活動についてのご意見は所管の消防本部にお伝えします。

②3-1 常に市民の立場に立った市政をお願いします。

<回答>

議会として、市民の立場に立ち、市民の皆様の身近な声を反映していくよう今後も努力をしてまいります。

②3-2 医療関係については病院の充実強化。

<回答>

ご意見は、所管する健康づくり課にお伝えします。

②③－3 人口減少について根本的政策を！

<回答>

平成26年第2回定例会において、平成26年度桐生市一般会計補正予算（第2号）が可決されました。この補正予算の中には、人口減少対策の目玉事業とも言える住宅取得応援事業があり、この事業は市内に定住する意思を持って住宅を取得しようとする者に対し、住宅取得費用の一部を補助することにより、市外からの転入を促進、市外への転出を抑制、市内への定住促進を図り、人口減少に歯止めをかけることを目的としております。

②④ 空き家対策、樹木等。

<回答>

空き家対策については、議会としても総合相談窓口の設置及び迅速な対応を要望しております。